

飯山市自立計画関連

将来に夢の描ける飯山市づくり

平成18年度予算

重点施策「8つの柱」

集中と選択と協働により輝き続けるいいやまづくり

人口2万5000人を維持し、さらに増加を目指すために

①産業の活性化

①健康をキーワードにした旅産業推進事業（1900万円）
健康をキーワードとした新たな旅の構築として、地域の資源である森林・温泉・食・農を活用し、健康旅産業の創出を図る。

①先導的旅産業創出事業（1100万円）
●地域資源を生かした新規分野で「先導的旅産業創出事業」と認める事業に対する支援
●行政が実施すべき事業をノウハウのある民間事業者へ委託し、旅産業事業を推進する。

①新幹線飯山駅広域活用研究事業（46万円）
新幹線飯山駅機能を検証し、駐車場・広域観光案内機能のあり方、費用負担・運営方法について合意形成を図る。

①飯山経済塾（100万円）
商工会議所が主催する商業経営塾の強化を図り、新分野にも対応できる経済人の育成を支援する。また、商工会議所が募集とりまとめを行う中小企業大学受講料に対する補助も実施。

①アスパラガス産地再生事業（430万円）
アスパラガス立ち枯れ症対策として、新たなほ場にアスパラを新植する場合、苗代として10a当たり2万円を補助し（JA・受益者も1/3負担）、飯山の基幹産品アスパラの産地振興を図る。

②若者定住・回帰支援住宅促進事業（592万円）
若者住宅・ふるさと回帰支援として、民間活力を生かした戸建て住宅・集合住宅の建設促進のため、建設補助等を行う。

②新町団地建設事業（1532万円）
市街地にある新町団地の老朽化により、新たな公営住宅を建設するための建築設計等を実施する。

②都市と農村の共生・対流社会実験事業（500万円）
都市と農村の共生・対流を進めるため「都市と田舎が連携して取り組む新たな試み」に参加し、交流人口の拡大・ふるさと回帰を促す。

②ふるさと回帰支援事業（380万円）
飯山市へのふるさと回帰者に対して、●定住を目指す長期滞在者への支援、●回帰体験ツアーへの支援、●定住者の就職受入事業者を支援

②JR 駐車場等整備事業（600万円）
飯山駅南側駐車場の舗装・区画線工事により通勤者等の利便性を高める。●整備面積：1618㎡ ●排水整備：33m

③子育て応援事業（4815万円）
6歳までの乳児・幼児に対する親の育児経費負担を軽減する。子ども1人年間4万円の「子育ておうえん券」を交付。また、市内取り扱い店を募集し、商店街活性化も図る。

④地域防災対策整備事業（2200万円）
豪雨・豪雪などの災害に備え、必要な整備を計画的に実行し、災害地域の被害軽減を図る。

④学校防災設備改修事業（480万円）
各小中学校の防災設備の不備を改修し、災害時の不安を解消する。

④学校緊急連絡システム整備事業（90万円）
緊急時の子どもの安全確保のために、学校と保護者間の連絡手段として、携帯電話やパソコンにメール発信できるシステムを導入し、子どもの安全を確保する。

④住宅耐震対策事業（765万円）
地震災害から市民の生命と財産を保護し、地震時の災害復興費の軽減を図るため、木造住宅の耐震診断を行い耐震補強する世帯に対する補助を実施する。

④自主防災会育成事業（90万円）
各集落における自主防災会の組織化・育成のための補助。



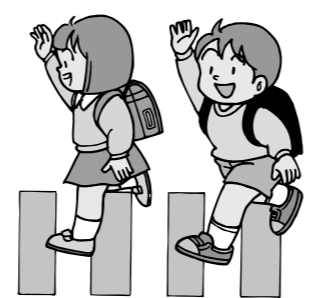
新幹線飯山駅広域活用研究事業



戸建て住宅・集合住宅の建設補助



年4万円の子育ておうえん券を交付



学校緊急連絡システムを整備



木造住宅の耐震補強への補助

新幹線駅周辺整備

区画整理事業として、実施設計・家屋移転・一部用地取得および現 JR 飯山駅の駅舎移転統合基本設計等を実施します。

- 区画整理事業（7億2165万円）
- 区画整理実施設計審議会・仮換地指定・補償調査（1億0089万円）
- 補償および用地買収（6億1664万円）
- 公共用地および代替地取得事業（13億9420万円）

旅産業・にぎわい創出事業

健康をキーワードに、森林、温泉、食・農を活用し「森林療法」「温泉療法」「食療法」を取り入れた新たな旅の提供に向けて事業を推進します。

- 健康をキーワードとした旅産業推進事業（1900万円）
- スローフード推進事業（100万円）
- 旅産業推進費（93万円）



定住対策の推進

住宅建設に対する補助や市営住宅整備などの「住宅対策」と、新たに飯山市への定住を促す「ふるさと回帰」施策を重点的に実施します。

- 若者定住・回帰支援住宅建設促進事業（592万円）
- 市営住宅新町団地建設事業（1532万円）
- JR 駐車場等整備事業（600万円）
- ふるさと回帰体験ツアー支援（100万円）
- 長期滞在者に対する支援（120万円）
- ふるさと回帰就労者受入れ事業者支援（160万円）

子育て支援プログラム

- 保育所運営事業（3億9899万円）（延長保育事業、通園バス対策事業、一時保育事業含む）
- 児童館・児童クラブ運営事業（4206万円）
- 子育て支援センター、ファミリーサポートセンター事業（365万円）
- 家庭児童相談室設置事業（380万円）
- 母子等福祉事業（192万円）
- 教育相談室設置事業（187万円）
- 医療給付事業（3829万円）
- 児童手当給付事業（1億2118万円）
- 児童扶養手当（6062万円）
- 子育て応援事業（4815万円）
- 母子健康事業（415万円）
- こうのとりのり支援事業（78万円）

安心・安全なまち構築事業

- 防災意識の高揚と体制の整備（290万円）
- 地域防災計画策定（全面改訂）
- 自主防災組織育成強化
- 消防防災体制の強化・充実（1536万円）
- 防火水槽・消火栓等整備
- 小型消防ポンプ更新
- 災害に備えた施設・設備等の整備（3445万円）
- 内水排水用ポンプ設置等
- 住宅耐震対策
- 学校防災設備改修

健康増進プログラム

- 健康づくり（全年齢対象・10万円）
- 健康ウォーキング…正しいウォーキングの指導、グループ育成を行い、運動の習慣化を図る。
- チャレンジ! 体力測定…筋力・持久力を測定し、自宅での運動メニューを提供。自宅トレーニング後に再測定し評価。
- 生活習慣病予防（18歳以上・263万円）
- 血液サラサラ&筋力アップ教室…脳卒中等の生活習慣病予防、介護予防を推進。
- 介護予防（特定高齢者・1632万円）
- 筋力アップ教室…運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上を図り、介護予防を推進。

協働のまちづくり推進

- 協働のみちづくり事業（2200万円）…市と区民が協働して、地域に即した特色ある道づくりを行うことで、快適で安全な暮らしを確保します。市は、主に材料等の支給と技術的な施工援助を行い、区民が道路の改良工事を施工します。
- 協働のむらづくり事業（552万円）…市と区民が協働して、老朽化した用排水路・農道を整備し、受益者の維持管理の軽減を図ります。市は主に材料等を支給し、区民は用排水路や農道の改良を行います。
- 原材料支給事業（800万円）…未舗装の市道を舗装するため、地区の申請があった場合、生コンクリートなどの原材料を支給します。

生ゴミ出しません宣言

- ゴミの減量と再資源化・再利用化による「循環型社会の実践」を進めます。家庭から排出される燃えるゴミを、1人1日当たり300g以下を目標とします（昨年12月現在、320g排出されています）。
- ゴミ減量・再資源化推進事業（393万円）
- 生ゴミたい肥化、紙類の分別の普及・啓発…学習会、懇談会、出前講座等を実施し、家庭での生ゴミたい肥化などの自家処理、資源物の分別の推進を図ります。
- 生ごみ処理器購入補助…処理器の購入に際し、補助を行います。